

別紙

温室効果ガス排出削減計画

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社イトーヨーカ堂		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒102-8450 東京都千代田区二番町8番地8	
本票作成	部署名：明新メンテナンス株式会社（イトーヨーカ堂機械設備常駐管理会社）				
主たる業種	分類コード	56	業種名：各種商品小売業		
事業の概要	百貨店				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	イトーヨーカドー岡山店		岡山市北区下石井2-10-2	
	②	食品館倉敷店		倉敷市寿町12番2号	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 2 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

計画期間	平成 27 年度 ~ 平成 31 年度 (5 箇年度)								
削減目標	いずれかを選択	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	目標削減率 5.0 %	目標区分	20%以上	20~15%	15~10%	10~5%	5%未満
		<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準						○	
温室効果ガス排出量	基準年度 (平成 26 年度)			目標年度 (平成 31 年度)					
	6,767 t CO ₂			6,429 t CO ₂					
基準年度の主な工場等の排出量	番号	工場等の名称		基準年度 (平成 26 年度) の排出量					
	①	イトーヨーカドー岡山店		5,259 t CO ₂					
	②	食品館倉敷店		1,508 t CO ₂					
				t CO ₂					
				t CO ₂					

※ 「計画期間」欄には、5箇年度以内で特定事業者が定める期間を記入する。

(原単位基準の削減目標を選択した場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容		原単位当たり排出量	
	延べ床面積×年間営業時間 (50.934千㎡×8.565千時間=436.25) ※日本チェーンストア協会統一の指標である原単位を指標としました		基準年度	目標年度
			15.512	14.737
		t CO ₂ / (千㎡×千h)	t CO ₂ / (千㎡×千h)	

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値 (平成 26 年度)	達成率 (%)
指標の状況				

【目標削減率設定の基本的な考え方】

省エネ法と同様に年平均1%以上の削減を目標とします。
 また、前計画期間中に事業所数が2事業所に増加した事もあり、温室効果ガス排出量の目標削減量は既存の事業所では達成したものの、総排出量としては未達となりました。
 今後も計画期間内での事業所数の増減が考えられるため、温室効果ガス排出量の削減のほか、原単位当たりの排出量に対する削減の目標を当該期間から追加しました。

【目標削減率達成のための推進体制】

株式会社イトーヨーカ堂は、セブン&アイHLDGS.の総務部環境と連携しながら、グループの方針に基づく環境保全活動計画を策定するとともに、テーマ別に設定した担当部門が各店舗への教育・管理に取り組みながら「目標の設定（Plan）、実行（Do）、検証（Check）、改善（Action）」というサイクルに沿った環境マネジメントを徹底しています。

【排出量削減のためのこれまでの主な取組】

工場等の名称	取組内容
イトーヨーカドー岡山店 食品館倉敷店	平成26年度に岡山店にて以下の照明LED化を実施しました。 FLR32w×6灯用 1828台 FLR32w×3灯用 208台 FLR110w×2灯用 276台 FLR40w×2灯用 36台 FLR40w×1灯用 48台 ダウンライト 920台 エスカレーター底板照明 269台 駐車場照明 143台

【計画期間中に目標削減率を達成するために実施する措置】

工場等の名称	措置内容
イトーヨーカドー岡山店 食品館倉敷店	○主に以下の運用対策等を実施して温室効果ガス排出削減に努めます。 ・店内基本照明調光設備による適正な照度管理 ・バックルーム照明のこまめな消灯及び部分的な間引き ・営業時間前後の不要照明の消灯 ・看板及び外灯等の点灯時間を季節別に管理 ・自動販売機照明の夜間消灯 ・冷暖房設定温度の見直し ・空調運転開始時間の見直し及び予熱による停止時間の短縮 ・営業時間外は冷ケースにナイトカバーを実施し冷凍機負荷を削減 ・デマンドコントローラによりピーク電力低減及び電力平準化時間帯の電力需要抑制 上記の対策以外にも社内独自の節電ガイドラインを設定し、全店舗共通の基準にて温室効果ガス排出の抑制に努めております。また、自社独自のWEBシステムを導入し各店のエネルギー使用量を把握及び分析することにより対策や設備導入の検討に役立てております。 ○設備導入対策としては以下の実施及び検討を行います。 ・更新時期を迎えた機器の更新時には省エネルギー性能の高い機器の導入を検討

【森林保全等吸収源対策への取組計画】

県内での取組	無	
その他	有	イトーヨーカ堂はセブン&アイ・ホールディングスの事業会社として植林活動に限定することなく健全な森林づくりに必要な間伐や下刈り、樹種転換等の森林整備活動に積極的に参加しております。また、間伐による木質材をグループ内の店舗資材や事務備品として使用するほか、商品化することで国産木材の活用も推進しています。

【再生可能エネルギーの導入計画】

県内での取組	無	
その他	有	日照条件、立地を踏まえて太陽光発電パネルを大型商業施設アリオを中心に18店舗に設置しております。また、風力及びソーラー発電による外灯を新規OPEN店舗に積極的に採用しております。

【その他特記事項】

当社の環境対策の取組については、ホームページにて公表しています。
<http://www.itoyokado.co.jp/company/profile/csr/environment/index.html>